

防災・減災  
グループ



質問者（議員）  
くろさわ こうた 黒沢 航汰さん



質問者（補佐人）  
ささき らみ 佐々木 良実さん

**問** 小中高校と町で避難訓練を開催しては

**答** 連携なども視野に入れていく

**問** 防災訓練の参加者が少ないように感じる。直近の町の防災訓練では、何名の参加者があったか。

**佐藤町長** 3年度の防災訓練の参加者数は、320人であり、防災訓練の参加者数は年々減少し、ここ数年は300人前後で推移している。

**問** より多くの町民が参加しやすい時間帯に、事業所とも協働して行うことで、防災訓練の参加者を増やせるのではないか。また、町内の小中学校・高校と町が連携して避難訓練を開催しては。

**町長** 今後は、他市町村の取り組みをさらに研究し、事業所との協働や町内の小中学校・高校との連携なども視野に入れ、より多くの町民の参加のもと、避難訓練を実施できるよう改善に努めていく。

その他の質問

◆地区ごとの詳細なハザードマップを整備し、町内各所に設置しては。



防災・減災グループの皆さん

次に災害が発生した場合、人的被害を最小限に抑えるためには、日頃の訓練が大切だと思い、この質問をしました。

災害伝承  
(碑の記憶)  
グループ



質問者（議員）  
はりう ゆうき 針生 優輝さん



質問者（補佐人）  
やまざき あすか 山崎 飛鳥さん

**問** 災害の教訓を刻んだ石碑の周知を

**答** パンフレットなどで紹介する

**問** 町には災害の教訓を刻んだ石碑が点在しているが、人々にあまり知られていない。そこで、パンフレットや防災減災ツアーなどを通じて町内外に周知してはどうか。

**佐藤町長** 町内に存在する石碑等は、先人が後世の私たちに震災の記憶や教訓として示したもので、次世代に継承していかねければならないと考えている。町内に点在する自然災害伝承碑などの紹介は、新たにパンフレットを作成する方向で検討し、町ホームページ上でも情報提供していきたい。石碑や碑文をめぐるツアーの実施は、今後計画している「歴史講座」の実施の中で取り組んでいく。

その他の質問

◆石碑の碑文を読みやすくするために、田の浜地区にある石碑のようにパネル表示にできないか。



災害伝承（碑の記憶）グループの皆さん

石碑に刻まれている教訓を風化させないよう、町内外問わず多くの人に伝えていきたいです。